


# 「しゅ・じゅ・かん・周術期管理外来」 はじめました！！



：手術看護認定看護師 中村 悦子

「しゅじゅかん」とは、当院で2014年11月よりスタートした「**周術期管理外来**」の事です。まだまだ知名度も低く、そもそも告知をほとんどしていなかったため、スタッフの皆さまに「なにをしているの？」 「いつしてるの？」 「メリットはなに？」 などなど疑問が押し寄せてきていることと思います。そこで今回の手術看護認定看護師ニュースでは、この場をお借りし「周術期管理外来」について紹介したいと思います。

## Q1. 何の外来なの？

主に周術期合併症のリスクの大きい手術を受けられる患者さまに対して実施される術前外来です。麻酔科、歯科口腔外科、手術看護師、薬剤師が担当しています。

## Q2. どんな患者さんが対象ですか？

心臓血管外科、開心、大血管手術・外科、PD、肝切除術・呼吸器外科、肺切除術・脳外科、開頭術・耳鼻科頸部悪性腫瘍手術を受けられる患者さまです。(2015年4月現在)

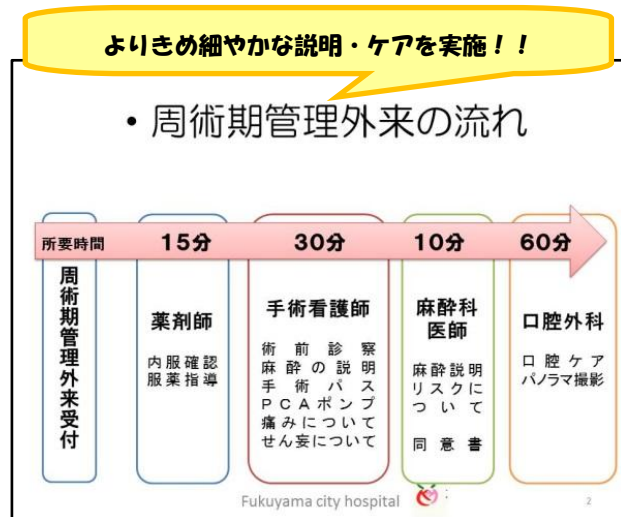
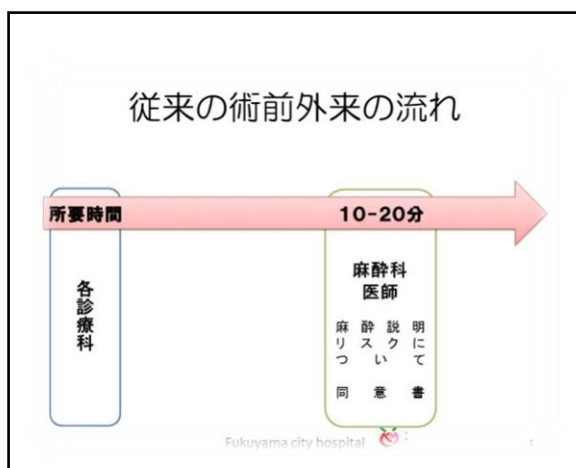
## Q3. 従来の麻酔科外来と何が違うのですか？

①手術全般を熟知している手術室看護師が術前に関わることで、きめ細やかな周術期に関する問題の早期解決と、よりよい手術時の看護計画の立案につながり、安全な手術の提供につながられます。また、術前の患者さまの具体的な不安の表出を受け止める事で、安心につながられる事を目標としています。

②薬剤師が内服薬確認を行う事で、術前中止薬の確認など手術に影響する薬のダブルチェックができます。

③歯科口腔外科受診することで、挿管時の歯牙損傷予防、また、周術期の口腔ケアにより術後の肺合併症リスクを予防していきます。術前からよく噛めるようにして、術後の全身の回復を助けます。

従来は主治医と麻酔科医師の診察のみだったので、より多職種で周術期患者の安全安心な手術をサポートできるようになっています。



周術期に関するご相談は、いつでも手術室 中村まで !! (\*^\_^\*)